

令和5年度第2回甲府市環境審議会質問・意見回答書

該当頁	個別目標	取組方針等	質問・意見	回答
1	1-1	家庭の生け垣緑化の推進及び費用の助成	目標値（45m）が少ないように感じるが、何か理由はあるか。	過去5年間の実績に基づき目標値を設定しております。また、令和2年度より国の補助制度がなくなったため、事業を縮小した経過があります。
1	1-1	水源水質の検査の実施	地下水の検査が年1回となっているが、昭和系と中道系それぞれの地下水においてそれぞれ年1回という認識で良いか。	水源監視に関連する項目について、昭和系及び中道系の水源とする井戸すべてにおいて年1回検査を行っています。また、各原水として定期的な検査も行っています。
1	1-1	水源水質の検査の実施	地下水の検査において渇水期・豊水期で検査結果が変わる可能性があるため、年1回では少ないのではないかと。	各水源井戸の地下水については、水質が悪くなると言われる渇水期の夏季に検査を行っています。また、1項目（アンモニア態窒素）以外は、原水として1年を通して定期的に検査を実施しています。
1	1-1	雨水の地下浸透の検討	施工面積が目標値となっているが、透水性舗装自体がヒートアイランド現象の発生抑制に寄与していることの検証は可能か。	透水性舗装におけるヒートアイランド現象の発生抑制については、学術論文「透水性舗装による都市の熱環境改善効果の研究」により、舗装自体に雨水を貯留する機能を与え、その貯留された雨水の蒸発によって、従来の舗装と比較して、路面温度が低減されることが実証されております。
1	1-1	公共施設における節水や雨水利用の促進	本庁舎での取組が記載されているが、他の施設での雨水利用は無いのか。	本庁舎以外には雨水を利用する設備がないため、他の施設での取組は行われておりません。
3	1-2	貴重植物の生態保護	貴重植物の保全を目標としているが、在来種の保護の観点も追加していただきたい。	年次計画書に在来種保護の観点を追加し、今後も史跡の整備復元工事に際して、在来種であるキンラン・ギンランといった貴重植物の植生に配慮します。
4	2-1	化学物質等の適正な管理と廃棄	浄水課の取組のみ記載されているが、他の化学物質を使用している部署の取組についても記載すべきである。	庁内の化学物質等を使用している部署を取りまとめ、年次計画書に記載することとしました。

2 3	1-1 1-2 1-3	「水源かん養機能等の高い森づくりの推進」 「自然の機能を活用した防災・減災の推進」	個別目標 1-1、1-2、1-3 にそれぞれ「水源林植樹の集い」を具体的な取組とするものがあるが、そのうち 1-1、1-2 は取組方針が「水源かん養機能等の高い森づくりの推進」、1-3 は「自然の機能を活用した防災・減災の推進」となっている。また、担当課は 1-1 では林政課・水保全課、1-2、1-3 では林政課のみとなっている。それぞれどのような理由でこのような記載となっているのか。	「水源林植樹の集い」は、安全で安心な水道水の供給に寄与する水源かん養機能の維持増進を目的としておりますが、併せて、林政課の取組である「1-2 多様な生態系の保全」「1-3 自然環境を活用した防災・減災の推進」にも効果的な事業であることから、林政課を担当課として同事業を記載しています。
3	1-1	雨水の地下浸透の検討	都市整備課分の目標値が令和 5 年度 300 m ² から令和 6 年度は 30 m ² と大きく下がっているが、どういった理由からか。	透水性舗装の施工については歩道舗装を対象としており、各年度により歩道舗装工事を実施する箇所が異なります。令和 6 年度の歩道舗装施工予定面積は、30 m ² のみとなっております。
7	3-1	公共交通機関の利用促進	自動運転技術や遠隔運転技術を使用したバスやタクシーなどについての計画や実験の予定はあるか。	現在、自動運転技術や遠隔運転技術を使用したバスやタクシーなどについての計画や実験の予定はありませんが、将来的なバスやタクシーの運転士不足が懸念されておりますので、公共交通の持続化を図る取組として、自動運転等の先進技術に関する調査・研究を行ってまいります。
8	3-1	エコ通勤・エコ通学等の推進	貸出方法については、スマホ管理などで、無人で24時間自由に貸出・返却ができるような方法を検討していただきたい。	レンタサイクル事業については、(一社)甲府市観光協会の実施事業のため、頂いたご意見を共有し、より良い事業実施に向けて調査・研究してまいります。